

一般財団法人 印刷図書館 2025年度 事業計画書

自 2025年4月 1日

至 2026年3月31日

概 況

印刷図書館は1947年（昭和22年）、戦後間もない時期に設立されました。以来、今日に至るまで印刷産業の発展向上を目指す「知」の学び場として活動を続けています。

2023年度より資料の保存環境の見直しのため、温湿度データロガーと除湿機を導入。2024年度はカビ被害資料のクリーニングを実施し、引き続き館内の環境整備に努めました。

2025年度は、現行の蔵書管理システムを見直し、蔵書データがインターネットで検索可能な仕様に改変し、利用促進と運営費のコストダウンを図ります。

印刷図書館は、印刷文化に貢献する業界唯一の専門図書館として、その役割を強く認識し、整備充実に努め、日本印刷産業連合会や外部関連機関との連携を強化し、図書館の利用促進と活性化を図ってまいります。

事 業 計 画

I. 図書館基本事業

（1）図書館運営事業

- ・ 専門図書館としての一般公開及びサービス
- ・ 図書・資料の収集、整理
- ・ 利用者への蔵書の紹介・検索、情報の提供
- ・ 関連機関との相互協力

（2）広報活動事業

- ・ 受入れ資料のデータベース化
- ・ インターネットへの蔵書データの更新作業
- ・ ホームページを通しての新刊情報の紹介
- ・ ホームページを通しての財団活動報告

（3）その他の事業

- ・ 所蔵する印刷文化財の貸出等

Ⅱ.重点テーマ

1. 現行の蔵書管理システム（OPAC）から新システムへのリプレイス

現在、印刷図書館は所蔵する資料の管理および Web 公開のために、「Net Facil」というシステムを活用しています。しかしながら、蔵書データがインターネット検索エンジンにヒットしないという課題があり、年間利用費も割高なため、管理システムの変更を検討しました。

2025 年度は現行システムから新たに別のシステムへと切替えを実施し、印刷図書館の利用促進・知名度アップ並びに今後の図書館運営経費の健全化を図ります。

2. 図書館のPR活動の強化

2024 年度の来館者数は前年度より 1 割減となりましたが、ホームページへのアクセス数は 3 割増となりました。

引き続きネット上でのホームページの価値向上を図るため、1. で述べましたように蔵書データをインターネット検索エンジンにヒットさせるようにシステムを切替えます。また、本年設立 40 周年を迎える日本印刷産業連合会の周年記念事業と連携し、その具体的施策の中で存在感を高めていきます。印刷会館来館者への直接的なアピールも強化することで、来館者数増加を目指します。

3. 図書館と関連機関との連携強化

印刷図書館への関心・利用度を高めるために、日本印刷産業連合会および 10 団体、その他、近年関係性の高まった関連団体等とのネットワークの提携・協力関係を構築し、図書館活動の活性化につなげていきます。

2025 年度におきましても、印刷図書館と「印刷博物館」とで、「印刷関連専門図書館交流会」を開催し、テーマを決めての勉強会・情報交換や関連機関への見学会などを計画し、実施していきます。

以 上